

災害対策について



問 近年、世界各地で想定外な大規模災害が発生している。

地域の方々が災害時に共働・連携するためには、行政としてのリーダーシップが不可欠である。

また、住民には災害に対する意識を持つための啓発が必要である。

① 公区として、防災に対する取り組みに差が生じているようだが、今後どのように啓発していくのか。

② 災害時の行政と公区（地域）の役割をどのように考えているのか。

③ 職員の災害対策マニュアルはあるのか。あるのであればどのようなものか。災害が発生して庁舎に集合するのは二次災害につながるのでは。

④ 万一備品が不足した場合どのような方法を考えているのか。

⑤ 6,000食のアルファ米は賞味期限前に更新す

ると思うが、古くなったアルファ米はどのように処理をされているのか。

⑥ 行政で管理するデータが大規模な災害により破損する恐れがある。

どのような対策をとっているのか。

また、今後どのように考えているのか。

地域イントラネット基盤整備事業により、幕別・札内・忠類の3カ所で管理す

きるのではないか。

⑦ 停電・電話線の断線等の時、通信網はどのように確保するのか。

携帯電話用電池・衛星電話の備えは。

防災無線の考えは。

町長

① 平成16年3月に「防災のしおり」を各家庭に配布するとともに、広報にて防災の重要性を周知し、今後も、様々な機会を活用し、先進的な公区の事例紹介や、災害に対する危機管理意識の高揚、防災対策の意義について啓発を行いたい。

② 行政が住民の生命と財産を災害から守ることは重要な責務であり、被災者の救出、収容、救護、生活物資の支援、道路や水道などのライフラインの復旧などに努める。

災害時の被害を軽減するには、被災直後の対応が必要であり、火災の初期消火、被害者の救助と応急手当てなど地域住民相互による援助活動が重要であり、各公区が活動の中核的役割を担うことで、一層実効性が上がるものと思う。

③ 幕別町地域防災計画にて、地震や大雨による災害の発生する恐れがある場合や発生した場合の非常配備体制の基準、組織及び業務分担を定めている。

二次災害についてはできる限り遭わないよう意を用いたい。

④ 不足した場合は、幕別町商工会や北海道及び他市町村と災害時に食料及び衣料品などの日常生活に必要な物資の支援を頂く内容の協定を締結している。

⑤ 賞味期限が切れる1、2カ月前に、町内公区の防災

訓練や、社会福祉協議会のイベント時に試食したり、十勝水防訓練や北海道防災訓練時に使用している。

⑥ 電算管理しているデータは電算室に設置しているサーバー機器に保存し、毎日、磁気テープに複製し、耐火キャビネットに保管している。

電算管理していない戸籍は耐火キャビネットに保管している。

その他文書等も、今後、電算文書管理システムの導入などについて検討したい。

⑦ 停電時は、無停電電源装置と自家発電装置により対応し、電話線断線時は、消防無線や衛星を使用する北海道総合行政情報ネットワークにより通信網を確保する。

住民への情報伝達は、広報車の活用や郵便局、町内コンビニエンスストアと締結した防災協定に基づき災害時の情報交換体制を活用する。

災害時の携帯電話の活用は、引き続き内部で検討する。



災害用備蓄米